

# 事例研究レポートの作成について

指導実習では、実際の事例を通して、幼児・児童・生徒の学習や行動・社会性を中心に、対象事例の情報収集、アセスメント、個別の指導計画の作成まで行います。

## 1. 事例研究レポート(1例)の作成について

事例研究レポートは、学習や行動・社会性に課題のある幼児・児童・生徒1名について観察し、以下の様式を使用して作成してください。(A4用紙2枚まで、できるだけパソコンで作成)

やむをえず事例を準備できない方は、テキスト【第4版】I巻「アセスメントの総合的解釈」P191~197の事例Bを使い、事例研究レポートを作成してください。

## 2. 事例研究レポートの記入上の注意

①受講登録番号・氏名の欄:ご自身の受講登録番号・氏名を忘れずに記入してください。

②対象児の記載:対象児は、個人が特定できないように記載してください。イニシャルは使わないようにします。

例) A児

③診断または判断:医師による診断名がある場合、公的機関での認定がある場合には、それを記入してください。

例) A 医療センターで ADHD という診断を受けた。

診断名がない場合には、あなたの判断または学校での判断を書いてください。

例) LD(読み書きのLD)の疑い

④学習上の課題:対象児を観察または諸検査を実施し、学習上の課題を5点まで書いてください。

例) 拗音や促音での読み誤りが多く、国語の教科書がスラスラ読めない。

例) スラスラ読めないため、国語は初読では内容理解ができない。

⑤行動・社会性の課題:対象児のかかえる行動と社会性の課題を5点まで書いてください。課題がない場合には「特になし」と書いてください。

例) 一斉指示では、聞き逃しが多い。

例) 自己主張が強く、友達とのトラブルになりやすい。

⑥心理検査等の結果からわかること:心理検査を実施している場合には、その検査名と結果を記入し、検査結果からわかったことを記入します。心理検査のみならず、読み書き検査、チェックリストなどの結果も記入します。

⑦通常の学級、特別支援学級、通級による指導等における配慮事項(合わせて5点程度):学習上の課題、行動・社会性の課題に合わせ、通常の学級、特別支援学級、通級による指導等における配慮事項を書きましょう。ここでは、対象児の抱える課題に対応する配慮であることが大切です。

## 事例研究レポート用紙

年 月 日 提出

参加指導実習：第 回（関東・関西）地区 *いずれかを○で囲む	
受講登録番号	一 氏名
職種（教育・心理・医療・福祉・その他： ）	
事例研究対象児（自分の事例・テキスト事例）*いずれかを○で囲む	
年齢及び学年 歳（幼・保・小・中・高 学年）男・女	
診断または判断 *診断がついている場合は記入。なければあなたの判断を書いてください。	
学習上の課題（5点以内）	
行動・社会性の課題（5点以内、ない場合は「なし」とお書きください）	
心理検査等の結果からわかること（結果がなければ省略）	

通常の学級、特別支援学級、通級による指導等における配慮事項（合わせて5点以内）

\*先に挙げた学習及び行動・社会性の課題に対応する配慮事項を考えて記入して下さい。

・学習

・行動・社会性